STAR

コーン引起しアタッチメント

取　扱　説　明　書

製品コード　K38193
型　　式　ALC4021

部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

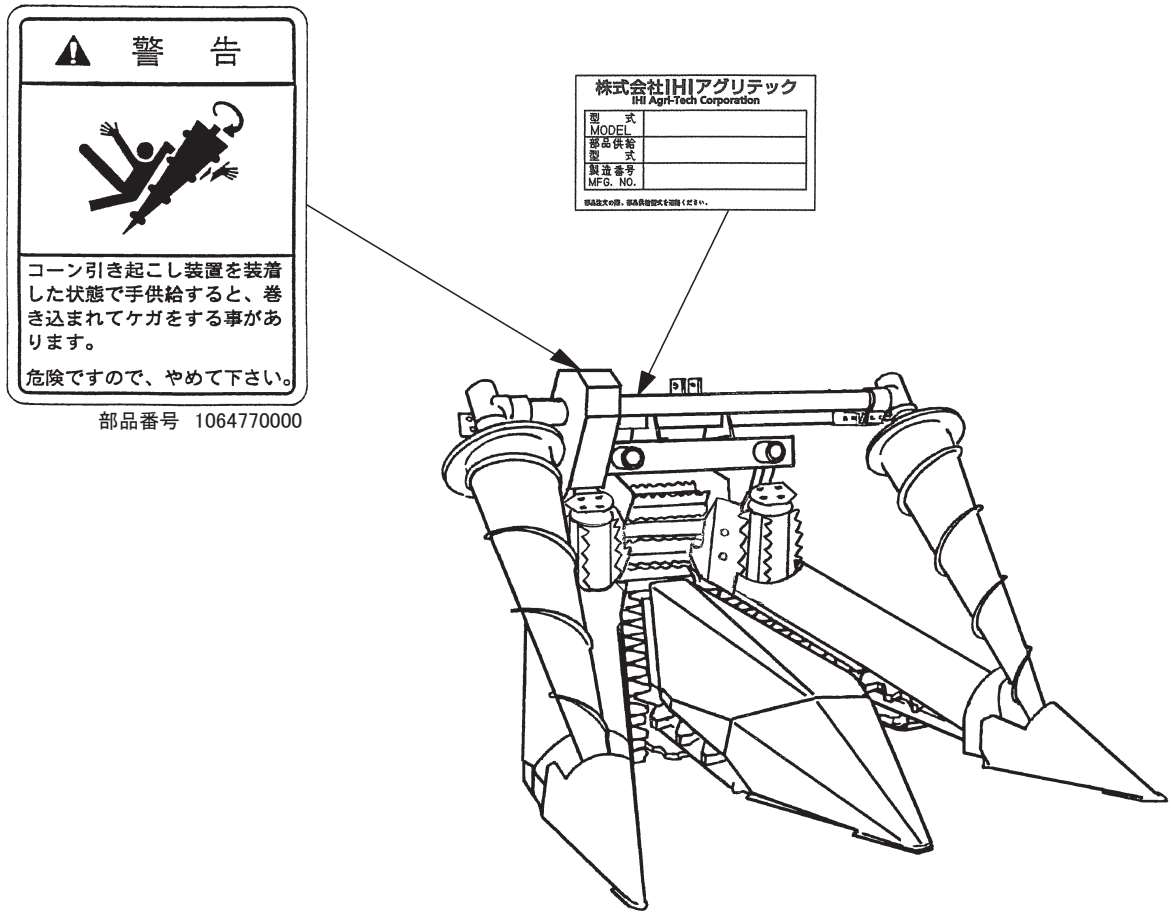
⚠ 安全に作業するために

安全に関する警告について

⚠印付きの警告マークは安全上、特に重要な項目を示しています。
警告を守り、安全な作業を行ってください。

⚠ 危 険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警 告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注 意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

警告ラベルの貼り付け位置



ー ラベルが損傷したときは ー

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大切なものです。
ラベルが損傷したときは、すみやかに貼り替えてください。
注文の際には、この図に示す　部品番号　をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。
作業前には、トラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書および、フォレージハーベスタ・ロークロップアタッチの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作　業　前　に

取扱説明書は製品に近接して保存を

⚠ 注意

- 機械の取り扱いで分からない事があったとき、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。
  取扱説明書は分からない事があったときにすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

⚠ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。
  作業を始めるときは、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんなときは運転しないでください

⚠ 警告

- 体調が悪いとき、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。
  次の場合は、運転しないでください。

  □過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
  □酒を飲んだとき。
  □機械操作が未熟な人。
  □妊娠しているとき。

服装は作業に適していますか

⚠ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。
  次に示す服装で作業してください。

  □袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
  □ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
  □ヘルメットを着用する。
  □はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸すときは

⚠ 警告

- 機械を他人に貸すとき、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。
  取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

⚠ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
  機械の改造はしないでください。
  アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。
  部品交換するときは、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

⚠ 警告

- 機械を使用するときは、取扱説明書に基づき始業点検を行い、異常箇所は必ず整備を行ってください。
  守らないと、機械の破損を引き起こすだけでなく、機械に巻き込まれる等の思わぬ事故により、死亡または重傷を負う危険性があります。

作　業　中　は

作業するときは

⚠ 危険

- 機械の調整や、付着物の除去などを行うとき、ＰＴＯおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

⚠ 警告

- 作業をするとき、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中または回転中に飼料を手で投入しないでください。
　守らないと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。

作業が終わったら

機体を清掃するときは

⚠ 危険

- 機械の調整や、付着物の除去などを行うとき、ＰＴＯおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

⚠ 注意

- 作業後の点検を怠ると、作業機の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をするとき

⚠ 危険

- ＰＴＯおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。取り外したカバー類は、元通りに取り付けてください。

⚠ 注意

- 機械に異常が生じたとき、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。

もくじ

安全に作業するために

安全に関する警告について …… 1

作業前に …… 2

作業中は …… 3

作業が終わったら …… 3

不調処置・点検・整備をするとき …… 3

1 ロークロップアタッチメントへの装着

1 各部の名称 …… 6

2 組立部品 …… 6

1. 解梱 …… 6

2. 組立部品の明細 …… 6

3 ロークロップアタッチメントへの装着 …… 7

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検 …… 8

2 エンジン始動での点検 …… 8

3 給油箇所一覧表 …… 9

3 作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的 ……10

2 作業要領 ……10

4	作業が終わったら 1 作業後の手入れ……10 2 長期格納するとき……10

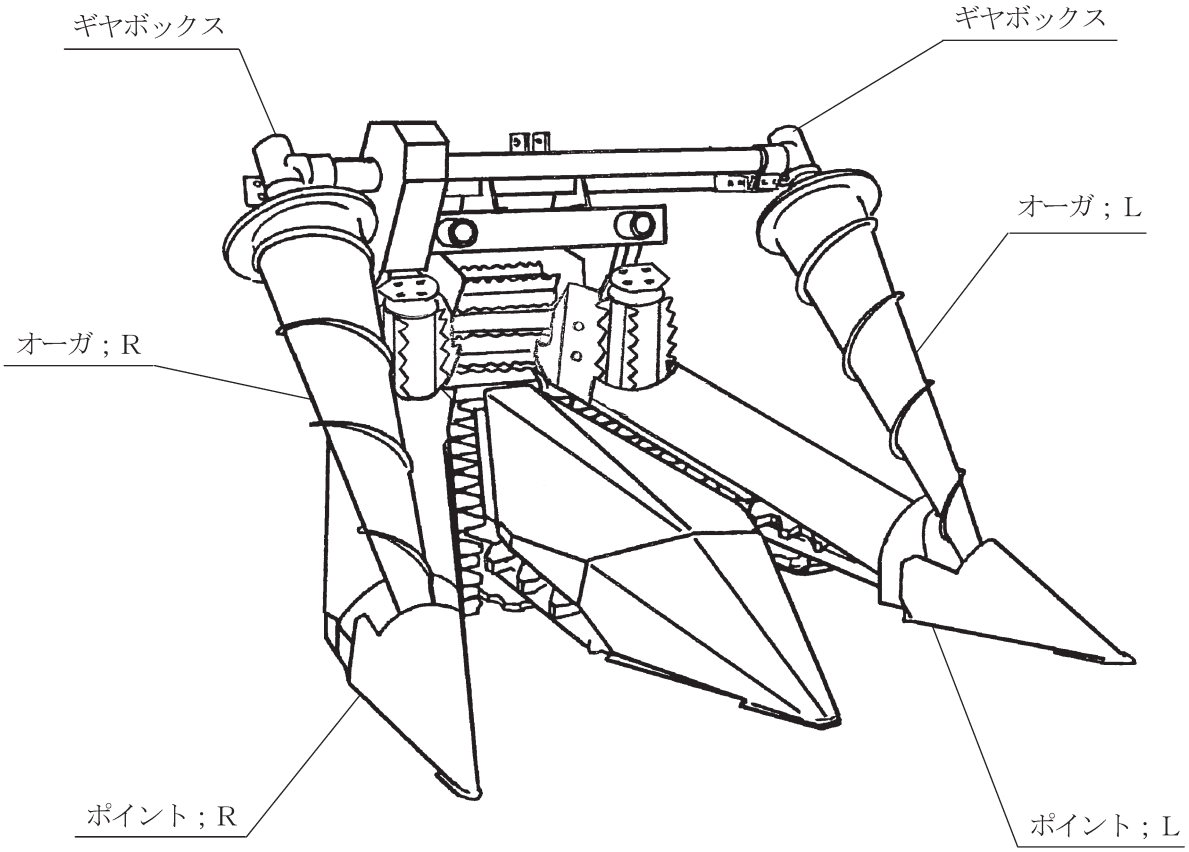
5	点検と整備について 1 点検整備一覧表……11 2 主要消耗品一覧表……11

6	不調時の対応 1 不調処置一覧表……12

1　ロークロップアタッチメントへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

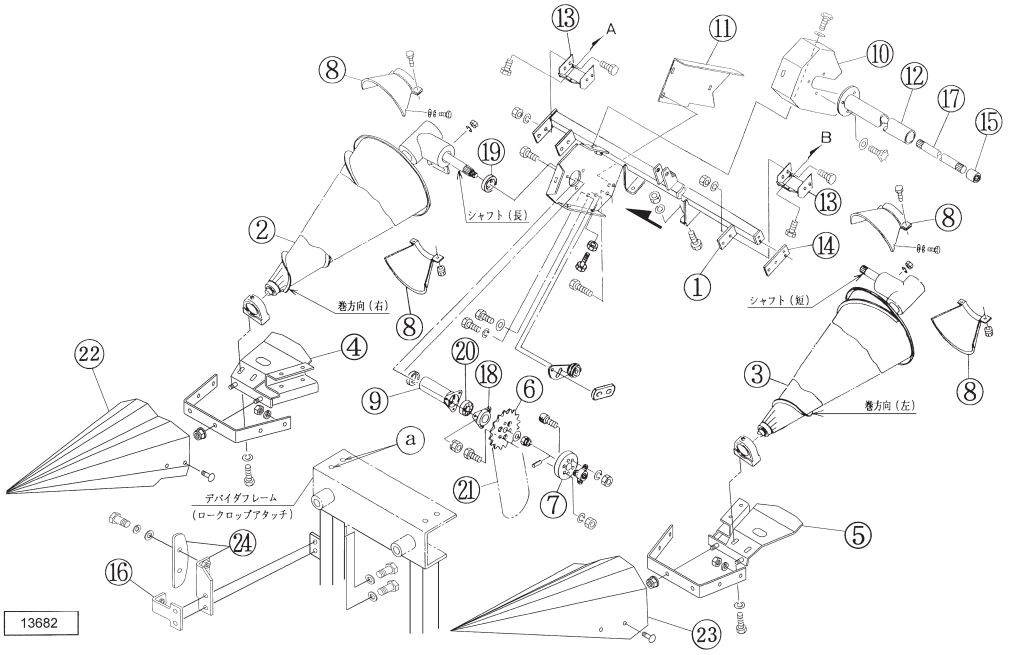
1　各部の名称



2　組立部品

1．解梱
　木枠に固定している部品をほどいてください。
2．組立部品の明細
　梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3　ロークロップアタッチメントへの装着



取扱い上の注意

本アタッチメントの組立に際し、ギヤボックスオーガ ASY ②（右巻き）、ギヤボックスオーガ; LASY ③（左巻き）、ドライブ ASY ①があります。オーガの巻方向およびポイントの切欠方向およびギヤボックスのシャフト長さに注意してください。

1．ロークロップアタッチメントのデバイダフレームの穴ⓐにブラケット①を取り付けます。
2．ギヤボックス②とブラケット⑬を遊びのある状態で取り付けます。（ボルト；M12 × 35）
3．ロークロップアタッチメントのポイント CP；R（141553*003）、ブラケット CP；R（141554*004）、チャンネル；R（135626*00M）、ブラケット；R（135624*00M）、ブラケット CP（135631*004）を取り外します。④ブラケット CP;R（136239*004）をボルト M10 × 70、フランジナイロンナット M10（現在のものを使用）により、ロークロップのフレーム（角パイプ）に固定します。
4．オーガ②の先端に取り付けされているハウジングをコガタボルト；M10 × 25 とバネザガネ 3 ゴウ M10 により、④ブラケット CP;R（136239*004）に仮固定します。
5．ギヤボックス②のシャフトにカラー；49.5 × 15 ⑲を入れてからブラケット⑬とブラケット①を遊びのある状態で取り付けます。
6．ブラケット①の矢印側からカバー⑨をいれ、ユニットベアリング；CS205 ⑳をバイフランジ⑱とコガタボルト;M8 × 25、コガタスプリングナット；M8 により固定します。
7．スプロケット；35T ⑥を組み込み、キャッスルナットで固定します。（スプロケット；35T ⑥にボルト；M10 × 60 を 3 本通しておきます。）
8．カップリング ASY ⑦をスプロケット；35T ⑥に取り付けます。
9．反対側の組み込みは、カップリング ASY ⑦にシャフト⑰を入れカバー⑫をかぶせておきます。
10. ギヤボックス③にジョイント⑮を取り付けます。
11. 続いて 2.3.4 項と同一手順で③⑤を組み立てます。
12. ジョイント⑮をシャフト⑰に挿入し、ブラケット⑬およびプレート⑭を遊びのある状態で①に取り付けます。
13. ハーベスタ本体側スプロケットとスプロケット；35T ⑥の通り芯、および②③オーガと④⑤のベアリングとの通り芯、ハメアイ等を確認したら、各部のボルトを締め付けてください。
14. アングル⑯、チェーンガイド ASY ㉔をロークロップのフレームに取り付け、（ボルト M8 × 35 を使用、ヒラザガネ、バネザガネ、ナットは現状のものを使用）ローラチェーン㉑を掛けます。押しボルトでテンションを張り、ロックナットで固定します。
15. カバー；2 ⑪を取り付けます。
16. カバー⑩および、カバー⑧を取り付けます。
なお、⑧のカバーは②、③オーガとのスキマが 2 ～ 3mm 確保できるよう組み立ててください。
17. ㉒、㉓ポイント CP；R・L を④、⑤ブラケット CP；R・L に取り付けてください（フランジナイロンナット M12 を使用）。

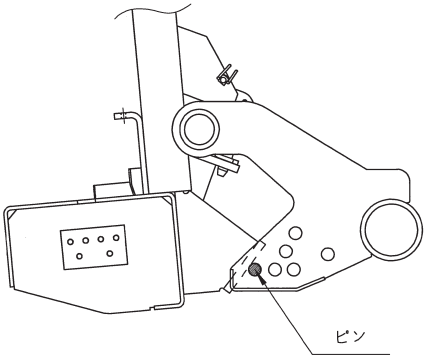
2　運転を始める前の点検

1　運転前の点検

異常な部品はないか、給油は充分にされているか。
ロークロップアタッチメントとの連結は確実に行われているか。
ハーベスタ本体、およびロークロップアタッチメントの点検も、それぞれの取扱説明書に基づき行ってください。

1．ギャザリングチェーンの張り
　ギャザリングチェーンの張りは、ロークロップが不意に下がらないように油圧で持ち上げて、固定して行ってください。

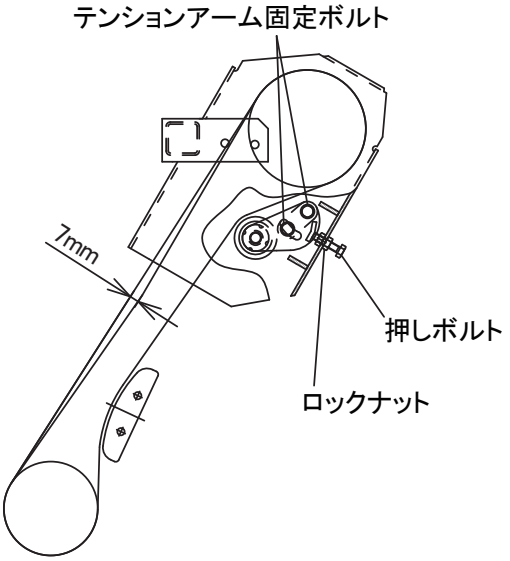
（1）ロークロップを油圧で持ち上げます。ピンを矢印の穴に差し込み、ロークロップの下限を規制します。リンチピンで抜け止めをします。



（2）ロークロップアタッチメントの取扱説明書の中の「ギャザリングチェーンの張り」を参照し、チェーンを張ってください。

2．ローラチェーンの張り
　ローラチェーンは、使用するにつれて少しずつ伸びが生じます。
　円滑な動力の伝達をするために、ローラチェーンの張り調整を行ってください。

（1）駆動部
　テンションアーム固定ボルトと押しボルトのロックナットをゆるめます。
　ローラチェーンのたるみが7㎜程度となるように押しボルトでテンションを調整してください。
　調整後、押しボルトのロックナット、テンションアーム固定ボルトを締めてください。



取扱い上の注意

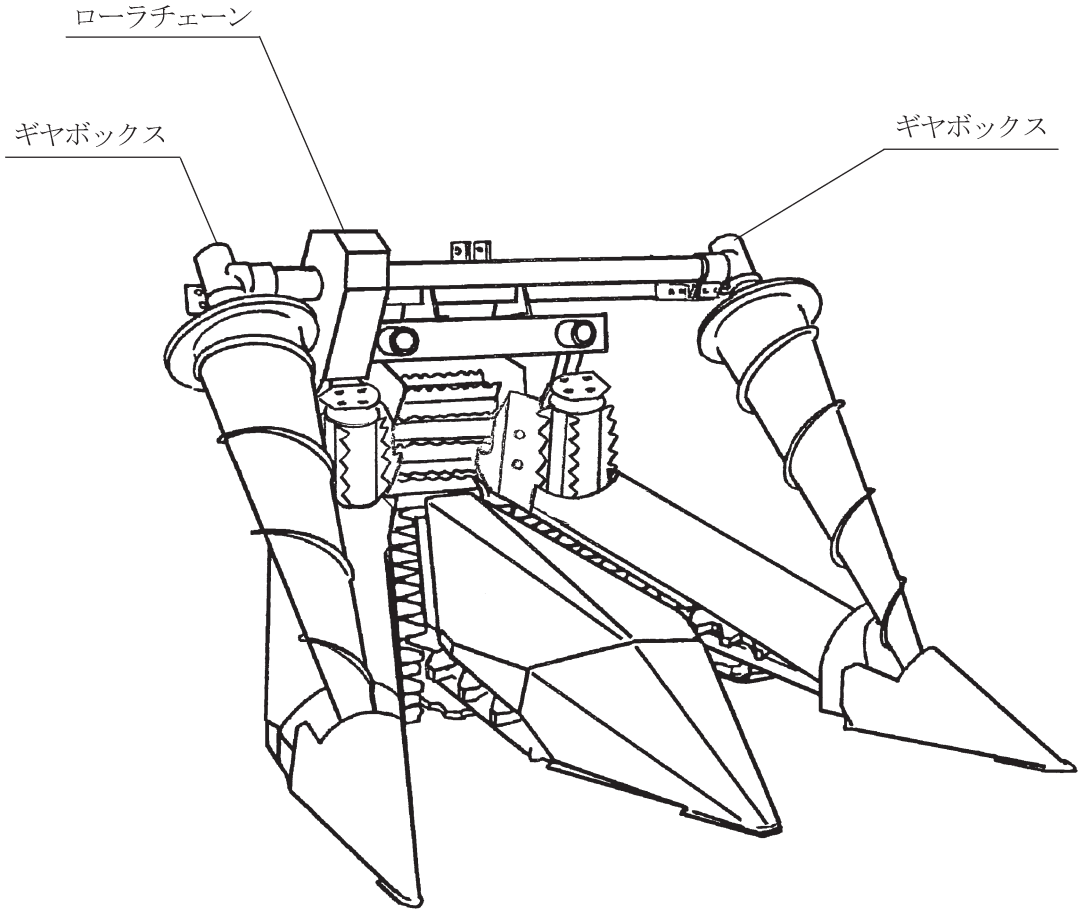
新品のローラチェーンへの使用直後や、逆転動作を長時間または頻繁に行った後は、ローラチェーンの伸びなどによりたるみが大きくなることがあります。早めの点検・調整を行ってください。

2　エンジン始動での点検

無負荷運転での異常音はないか。
トラクタのエンジン回転を徐々に上げながら確認してください。
ハーベスタ本体、およびロークロップアタッチメントの点検も、それぞれの取扱説明書に基づき行ってください。

3　給油箇所一覧表

○ 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
○ グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給　油　場　所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備　　考
1	ギヤボックス	2	グリース；2号		240g	分解交換
2	ローラチェーン	1	オイル	使用ごと	適量	オイル塗布

● ギヤボックスはメンテナンスフリーとなっております。
油もれがあった場合、分解・整備・給脂を行ってください。

3　作業の仕方

1　本アタッチメントの使用目的

1．台風等で倒伏した長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の刈り取り時、隣接した畦からの分離を補助するために使用します。
長稈作物の条播で倒伏したもの以外には使用しないでください。
2．倒伏していないときは本アタッチメントを取り外すか、オーガ駆動のローラチェーンを外し、オーガ回転を停止させて使用してください。

2　作業要領

ＡＲＣ４０２１の取扱説明書を御覧ください

⚠ 警 告

● 運転中または回転中に飼料を手で投入しないでください。
　守らないと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。

4　作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

⚠ 危 険

● 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1　作業後の手入れ

1．機械の上にかかっている牧草や回転部に巻き付いた牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2．ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか、また、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。
3．「5-1　点検整備一覧表」、「5-2　主要消耗品一覧表」に記載の項目について点検してください。

2　長期格納するとき

1．機械各部の清掃をしてください。
2．「5-1　点検整備一覧表」、「5-2　主要消耗品一覧表」に記載の項目について点検してください。
また、摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3．給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4．塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5．格納は風通しのよい屋内に保管してください。

5　点検と整備について

調子良く作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「5-1　点検整備一覧表」、「5-2　主要消耗品一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

⚠ 危 険

- ＰＴＯおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめてください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。元通りに取り付けてください。

1　点検整備一覧表

時　　間	チェック項目	処　　置
新品使用１時間	● 全ボルト、ナット、チェーンのゆるみ	● 増し締め、調整
使用ごと （始業終業点検）	● 機械の清掃 ● 部品脱落・破損部 ● 各部のボルト・ナット、チェーンのゆるみ ● 各部の油脂類	 ● 補充、交換 ● 増し締め、調整 ●「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	● 各部の破損、磨耗 ● 各部の清掃 ● 各部の給油、給脂 ● チェーン、回動支点等の磨耗 ● 塗装損傷部	● 早めの部品交換 ●「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 ● 早めの部品交換 ● 塗装または油塗布

2　主要消耗品一覧表

区分	No.	部品番号	部品名称	個数
チェーン	1	LA50122A	ローラチェーン　５０×１２２Ｌ　オフ２ツギテ１	1

6　不調時の対応

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で安心して作業が行えるようにしてください。

⚠ 危 険

- ＰＴＯおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。ＰＴＯを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1　不調処置一覧表

症　　状	原　　因	処　　置
ギヤボックスの異常発熱	① グリース量が不足 ② ベアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までグリースを注入する 部品を交換する
オーガが回転しない	① ギヤ破損 ② チェーンがはずれている ③ チェーンテンションがゆるんでいる	部品を交換する チェーンをかけ直す テンションを張り直す

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1．製品名
2．部品供給型式（型式）
3．製造番号
4．故障内容（できるだけ詳しく）

調　整	Ｓ－２４０５２９Ｇ

千歳本社 066-8555 千歳市上長都１０６１番地２
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都１０６１番地２
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ１１９１番地４４
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西２２条北１丁目１２番地４
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町２丁目１６番２
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花巻営業所 028-3172 岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第１１地割１２０番３
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙台営業所 984-0032 宮城県仙台市若林区荒井５丁目２１－１
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁２５１２－１
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東海営業所 485-0081 愛知県小牧市横内字立野６７８－１
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市北区下中野７０４－１０３
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 861-8030 熊本県熊本市東区小山町１６３９－１
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都城営業所 885-1202 宮崎県都城市高城町穂満坊１００３－２
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233